

デジタルスキル標準(DSS) 準拠

# HCD基礎検定

2026年6月27日(土)

次回は 2026年10月24日 予定

デジタルトランスフォーメーション (DX) 時代は、人々にとっての価値ある経験とその快適な利用環境を共創して紡ぎ出す知識と知恵が求められます。  
文系と理系の学生を問わず、その基盤となる基礎知識と、備えるべきマインドセットを！

## HCD基礎検定 (HCD検®) とは？

企画・開発・設計・品質保証・調達・営業・サービスなど幅広い関係者が、人間中心デザイン (Human Centered Design、以下HCD) の理念を理解し、共通言語として基礎知識・マインドを学び、HCDの専門家やUX/UIデザイナーとの協業・共創を効果的・効率的に進めていくための検定制度です。顧客起点と共創を前提に、仮説⇄検証プロセスを、素早く繰り返すことを、コンセプトとしており、DX実現を支えるだけでなく、これからの時代、誰にでも必要なマインド、知識、スキルです。

受験の流れ

2026年 3月23日 月 受験申込開始

6月 8日 月 事前学習サービス利用開始  
(テキスト・映像)

5月11日 月 受験説明会

6月27日 土 検定試験実施 13:00~

2026年 6月 4日 木 申込締切

7月13日 月 合否発表

**応募資格** 受験資格は特にありません。

**形式** オンライン形式・50問 (単一選択式)

**出題範囲** HCDの理念・マインド、共通言語、手法・プロセスに関する知識と人間工学、認知工学などの人間の特性に関わる基礎知識。

**受験メリット**

- DXの実現、デジタル製品・サービスの構築に必須のアプローチ方法である人間中心デザイン(HCD)の基礎知識、基本プロセスを体系的に学べる
- 事前学習サービス(映像、テキスト)を使って、人間中心デザインの基礎知識を、自分のペースで効果的、効率的に学べる

**検定料** 一般価格 **15,000**円 (消費税込)  
学生価格 **8,000**円 (消費税込)

申込先・お問合せ



実施概要・申込先URL  
<https://hcs-cc.org/hcd/apply/>

事務局  
secretariat@hcs-cc.org

# 人間中心デザインとは

## 新たな時代に即した人材に必要な不可欠な知識・マインド

近年のデザインマネジメントを基軸にしたデザイン経営やデジタルトランスフォーメーション（DX）における一つの核となる考え方で、Society5.0の人間中心の考え方にも通底しています。

コアとなるコンセプトは、モノ・コトに対して、「利用者視点」と「共創」によって新しい価値を生み出すことであり、顧客起点と共創でを前提に、「仮説⇔検証プロセス」を、素早く繰り返すことです。



## 受験者の声

### 社会で有用な基礎知識・マインドを学生のうちから学べることは大きなメリット

私は大学で心理学を専攻している学生です。大学の授業でユニバーサルデザインやバリアフリーなどについて学んでいく中で、さまざまな製品やサービスがどのような考えでデザインされているのに興味を持つようになりました。その後、認知心理学の授業で紹介された人間中心デザイン（HCD）の基礎検定なら学生でも受験することができると知り、学生のうちから基礎を学べることは大きなメリットにもなると思い受験しました。

事前学習は動画で行えるので、何度も繰り返し学習できることや隙間時間でも勉強できることなど自分のペースで学習できるので確実に知識が身に付きます。そのため、聞きなじみのない専門用語がある学生の私も合格することができました。

私は今後HCDの専門家となるための取り組みを行うつもりですが、HCDの基礎検定ではあらゆる産業で有用なマインドを獲得できますから、HCDの専門家を目指さない場合でも受験する意味は十分にあると思います。

常磐大学  
人間科学部心理学科  
下条勇斗さん  
(所属は合格時)

## 一般社団法人人間中心社会共創機構について

### 人間中心デザインの基礎知識とマインドセットをすべての人に

一般社団法人 人間中心社会共創機構（略称:HCS共創機構）は、デジタルトランスフォーメーション（DX）、Society5.0の時代に、「人間中心デザインの考え方と基礎知識をすべての人に！」を目標に設立しました。デザイン思考、UXデザイン、利用時品質、サービスデザインなどに関わるさまざまな人々、団体とともに「HCD基礎検定（略称：HCD検®）」を通じて、利用者中心、日本発の人間中心の社会の実現を目指してゆきます。



一般社団法人  
人間中心社会共創機構



WebサイトURL  
<https://hcs-cc.org>